

## 「医療福祉経営人材」養成コース

【概要】 医療福祉分野における経営マネジメントを担う優れた人材の育成を目的としています。

【対象】 主に大学卒業後、職業キャリア10年未満の経験年数で、将来、医療福祉分野において経営マネジメントを担うことに関心をお持ちの方

【本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等】

医療福祉分野の経営マネジメントを担うにあたって必要となる知識や判断能力

【講師】 田村 潤（広島国際大学 医療経営学科 教授）他9名の医療経営学科教員 ※各分野の担当は以下のとおり

【定員】 30名

会場：呉キャンパス

| 日時 |                         | 講座名  | 講座内容  |
|----|-------------------------|--|---|
| 1  | 5月17日（土）<br>9:00-10:30  | わが国の医療提供制度と医療保険制度の沿革と将来像<br>（田村 潤）               | 戦後、社会保障制度の一環として位置付けられたわが国の医療は、人材や施設といった医療提供制度と経営を維持する医療保険制度の両面から整備が図られ、現在に至っています。本講座では両制度の沿革を解説した後に、疾病構造の変化や少子高齢化を背景とした現制度の課題と将来像について述べます。  |
| 2  | 5月17日（土）<br>10:40-12:10 | 労基法改正と医師の働き方、医療提供体制との整合性<br>（江原 朗）               | これまで勤務医に対して医療機関の長による十分な労務管理がなされてこなかったが、度重なる過労死の発生から、労働基準法が平成30年に改正され、令和6年4月から医師に対しても適用されるに至りました。時間外労働の上限が設定され、違反した職場の長には刑事罰もが適用されるようになりました。今、医療現場はどう変わるべきであるのか、また、医師の働き方改革を実現するために医療提供体制をどう変えなければならないかを検討します。   |
| 3  | 5月17日（土）<br>13:00-14:30 | 医療機関における事務総合職（医療マネジメント職）に求められる能力と人材育成<br>（丁井 雅美） | 高齢化・人口減少が進む日本において、病院経営をめぐる社会環境が変化する中で、医療機関の生き残りのためには、病院をマネジメント出来る優秀な事務総合職（医療マネジメント職）、医療経営人材の存在が必須となっています。本講座では、医療機関における事務総合職（医療マネジメント職）の仕事、医療経営人材の役割を理解し、求められる能力を明らかにします。さらに、事務総合職（医療マネジメント職）の医療経営人材に対する育成方法について述べます。   |
| 4  | 5月17日（土）<br>14:40-16:10 | 医療情報システム管理と情報セキュリティ<br>（笹川 紀夫）                   | 国の医療DX政策の下、医療現場での情報システム（電子カルテ等）の利用が求められています。電子カルテによって正確な情報収集と迅速な指示の伝達、患者自身と医療職との情報共有など医療の世界が広がる可能性が大きくなっていますが、一方でセキュリティの不備によるシステムの停止や情報の流出が大きな問題となっています。本講座では医療の現場での情報システム管理の考え方と、セキュリティ対策について説明し、今後求められる人材像について述べます。   |
| 5  | 5月17日（土）<br>16:20-17:50 | 医用物理学（医療技術・生体理解のための物理学）入門、さらに…<br>（園田 幸治）        | 「物理学」を学ぶ理由として、主に、自然現象を理解するため、また現代の科学技術の基礎を学ぶためなどの理由が挙げられますが、医療技術や生体を理解する上でも物理学（これを「医用物理学」と言います）がとても役立っている例を分かりやすく紹介します。また、「物理学を学ぶことが、自分という存在の不思議さ、そして、生命の尊さなどへの気づきにつながる」ことについてお話ししたいと思います。  |
| 6  | 6月28日（土）<br>9:00-10:30  | 外国人患者受け入れのための実践講座<br>（シルモイ モニカ）                  | 近年、海外からの観光客・留学生・労働者の数は増え続けています。このような多文化共生社会において、医療従事者は日本語非母語話者とコミュニケーションをとり、ケアする必要があります。本講座では、事前に受講者が勤務先で調査したデータ（外国人患者数・対応スタッフ数・コミュニケーションツールの利用の有無や各施設のニーズ）に基づき、効率を高めるためのリソースを紹介し、活用方法についてディスカッションします。また、外国人患者とのコミュニケーションに自信をつけるためのロールプレイを行います。                   |
| 7  | 6月28日（土）<br>10:40-12:10 | 情報処理技術で変わる社会と医療<br>（金谷 孝之）                       | IoT（Internet of Things）、人工知能（AI）、XR（VR、AR、MRなど）、ロボットなどの情報処理技術が目まぐるしく進化しています。これらの情報処理技術が世の中に拡がることによって変化する社会、特に、医療現場について解説します。  |
| 8  | 6月28日（土）<br>13:00-14:30 | 保健医療施設の科学的管理法<br>（小西 幹彦）                         | 医療機関で活用されているマネジメント手法には、産業界と共通する手法や産業界で培われたノウハウを応用した手法もあります。そこで、スケジューリングなどを扱うオペレーションズ・リサーチ（OR）や、様々な組織でも応用されている総合的品質管理（TQM）につながる品質マネジメントなど、産業界でも用いられている科学的な管理法について述べます。   |
| 9  | 6月28日（土）<br>14:40-16:10 | 災害時人間行動の特性への理解と減災防災対策の理論と実践<br>（梅 林）             | 日本は災害の多い国です。災害を無くすことはできませんが、被害を減らすことは可能です。私たちにできることは、災害の発生時に的確な判断をしてすばやく避難行動をとることです。本講座では人間行動科学の基礎をはじめ、緊急時・災害時の心理特性、さらに最新の防災計画の理念や法律・対策を学習し、個人及び組織における災害時行動の基準と避難行動促進のために優先すべきことへの知見を論説します。また、建築火災における避難計画の基礎と応用について医療施設等の避難訓練の実例を取り上げ、行動の仕組みを科学的に扱う方法についても解説します。 |
| 10 | 6月28日（土）<br>16:20-17:50 | 非常時における救護活動や事業継続マネジメントについて<br>（井山 慶信）            | 病院は「最後の砦」。いついかなる時も、万全でなくてはなりません。事業継続マネジメント（BCM）や災害図上訓練（DIG）、避難所運営ゲーム（HUG）、災害エスノグラフィー、緊急時の応急手当、様々な防災用品等、平時に準備・訓練しておくべき知識や技術について解説をします。   |

【留意事項】 ・8割以上（8回/10回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。